

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	名古屋市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	名古屋市文化遺産活用プラン	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>名古屋市総合計画2018（平成27年2月策定）、名古屋市歴史まちづくり戦略（平成23年3月策定）、名古屋市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月策定）を踏まえ、地域のアイデンティティとも言える文化遺産を適切に保存することで確実に次世代に継承していくとともに、文化遺産を広く公開したり親しむ活動などを通じて積極的に活用することで、価値や魅力を発信し地域活性化を推進するため、下記の取組を実施する。また、実施計画期間中は、下記の取組を通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>[参照URL]            名古屋市総合計画2018（<a href="http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/66-7-1-0-0-0-0-0-0-0.html">http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/66-7-1-0-0-0-0-0-0-0.html</a>）            名古屋市歴史まちづくり戦略（<a href="http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-2-12-1-0-0-0-0-0-0.html">http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-2-12-1-0-0-0-0-0-0.html</a>）            名古屋市歴史的風致維持向上計画はURL（<a href="http://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000054494.html">http://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000054494.html</a>）</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。            名古屋市教育委員会文化財保護室：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等            また、補助事業は次の団体が実施する。            文化財名古屋保存活用実行委員会（委員長：名古屋市教育委員会文化財保護室長）            構成団体（催馬楽桜人保存会、志野流香道松隠会、福祿寿車山車保存会、神皇車保存会、湯取車保存会等[別紙名簿一覧参照]</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 11,047 千円	平成30年度申請額： 16,005 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>地域の宝である文化遺産について見て触れる機会を創出していくことで、文化遺産について市民が再認識をし、かけがえのないものとして愛着を持ちながら将来に渡り大切に継承していくことにつながる。また、同時に文化遺産を通じて地域の魅力が発信されることで、まちの活性化や観光促進の効果が期待できる。これらによって地域に暮らす人々が自分の住む町に誇りを持つことができ、市民自らの力で地域の文化遺産を守り活用していく活動への発展が期待できる。また、当事業を通じて市民と民間団体、行政、文化財保護団体による連携・協力体制が構築され、それぞれの得意分野を組み合わせることで、効果的かつ継続的な事業実施体制とすることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>名古屋市歴史的風致維持向上計画については、平成26年2月に策定をして事業を進めている。名古屋市歴史文化基本構想については、平成27年度より構想策定に着手し、市域の指定・未指定に関わらず約4,600件の文化財をリスト化し関連文化財群を設定した。この関連文化財群を活用した地域と文化財の関わり方についての提言をまとめ、平成29年3月に策定をおこなった。平成29年度は策定した歴史文化基本構想に関する講演会等をおこなったほか、策定を目指す団体に対する文化庁の研修の開催地にもなった。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	名古屋市教育委員会事務局生涯学習部文化財保護室		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	地下鉄最寄駅 (高岳・市役所・西高蔵・神宮西・伝馬町) の乗降車人数の合計			関連事業:	①②③	
目標値 1 :	【現状値】 平成 27 年度 1,585 万人/年 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,607 万人/年					
設定根拠 1 :	平成27年度の5駅の乗降車客数の合計は1,585万人であり、今後、毎年約3万6千人増加すると設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
1,613 万人/年	万人/年	万人/年	万人/年	万人/年	万人/年	
127%						
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	祭礼行事への参加住民数			関連事業:	④⑤⑥⑦	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 1,955 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2,077 人					
設定根拠 2 :	平成28年度地域の祭礼行事への参加住民数が1,899人のため毎年20人以上増やすよう設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
2,020 人	人	人	人	人	人	
53%						

※指標1地下鉄最寄駅 (高岳・市役所・西高蔵・神宮西・伝馬町) の乗降車人数の合計については、平成30年4月時点で平成29年度分が集計されていないため、平成28年度分の乗車人数を記載。

## 8(2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	山車囃子・からくり競演	実施団体：	名古屋文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	東区に伝わる5輦の山車のうち、2輦によるお囃子の披露とからくりの展示・実演					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	ホームページの閲覧数 (NPO法人「東区山車まつり振興会」)					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 132,619 件(累計) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 300,000 件(累計)					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
212,340 件(累計)	件(累計)	件(累計)	件(累計)	件(累計)	件(累計)	
48%						
事業②：	地域の文化財を一体的に活用した普及啓発事業 (①文化財巡り)	実施団体：	名古屋文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	江戸から明治、大正へと続く名古屋の近世・近代の歩みを伝える文化財が多数残されている名古屋城から徳川園に至る文化のみち界隈において、より多くの市民等に対し、幅広く文化財に触れ、周知する機会を提供するため、複数の文化財を活用し、伝統文化における共通題材を設け、文化財を巡るスタンプラリーを1カ月程度実施する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	スタンプラリーで巡る施設(名古屋城・文化のみち榎木館・文化のみち二葉館・名古屋陶磁器会館・名古屋市蓬左文庫・徳川園・徳川美術館)の年間来館者数の合計					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 2,480,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2,520,000 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
2,488,995 人	人	人	人	人	人	
22%						
事業③：	地域の文化財を一体的に活用した普及啓発事業 (②熱田寺院特別公開)	実施団体：	名古屋文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度			
事業概要：	悠久の歴史を誇る熱田界隈において、市民等が地域の文化財および歴史的建造物等に触れることができるよう、各施設、ガイドボランティア等の協力を得て、県指定文化財を有する聖徳寺、雲心寺をはじめとする、日頃は非公開である寺院の本堂や所蔵宝物を特別に公開する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市内の歴史・文化遺産などを紹介するスマホアプリ「名古屋歴史スマートナビ」の累積ダウンロード数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 4,539 件(累計) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 8,000 件(累計)					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
8,114 件(累計)	件(累計)	件(累計)	件(累計)	件(累計)	件(累計)	
103%						